

においの見える化 においセンサ

概要

においを検知する“においセンサ”

- QCMタイプ（水晶振動子）
- MEMSタイプ（酸化物半導体）

においセンサ外観
（QCMタイプ）

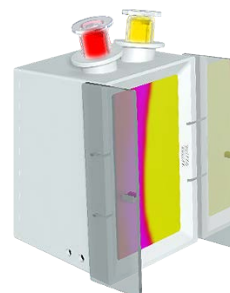


特徴

項目	仕様	
センシングタイプ	QCM	MEMS
センシング原理	におい分子吸着による周波数変化	酸化還元を利用した抵抗変化
搭載ch数	16	8
センサモジュールサイズ	30×50×5 (mm)	20×50×12 (mm)
においサンプリング方法	ポンプによる吸引	自然開放
センササイズ	80×100×50 (mm)	—
データ通信	2.4GHz無線、USBシリアル通信	USBシリアル通信
センサ制御	センサコントロールユニット	センサ基板
においの識別	エッジ/クラウド	エッジ/クラウド
電源	3.3V	3.3V
写真		

においを創り出す
“嗅覚ディスプレイ”

新しい嗅覚体験の実現



「要素臭」（基本となる複数の香り）
を調合することにより
多様な香りを再現

共同研究：東京科学大学

アプリケーション

においの違いの分類

通常と異なるにおいが生じていないか監視

官能（五感）評価



点検



異常検知

